

高崎智彦	デング熱、チクングニア熱など 昆虫媒介性ウイルス感染症の現 状と今後	平成 24 年度新興再興 感染症講演会.	2012 年 10 月 16 日	名古屋市
高崎智彦	教育講演－我が国の日本脳炎 の現状－特に小児において－	第 44 回小児感染症学 会総会・学術集会	2012 年 11 月 24－25 日	北九州市
林昌宏、網 康至、藤井 克樹、北浦和孝、モイ メ ンリン、白井顕治、小滝 徹、須崎百合子、森川 茂、西條政幸、鈴木隆二、 倉根一郎、高崎智彦.	マーモセットを用いたチクン グニアウイルスの霊長類モデル の検討	第 60 回日本ウイルス 学会学術集会	2012 年 11 月 13－15 日	大阪
高崎智彦	マーモセットを用いたチクン グニアウイルス、デングウイルス 感染病態解析	シンポジウム 2 熱帯 感染症 第 60 回日本ウイルス 学会学術集会	2012 年 11 月 13－15 日	大阪
モイ メンリン、大松勉、 高崎智彦、中村紳一朗、 網 康至、片貝祐子、須 崎百合子、倉根一郎.	Role of antibodies in dengue protective immunity and infection during secondary infection of marmosets.	第 60 回日本ウイルス 学会学術集会	2012 年 11 月 13－15 日	大阪
高崎智彦	チクングニアウイルスの生態 と病原性	第 53 回日本臨床ウイ ルス学会	2012 年 6 月 16-17 日	大阪府 豊中市
高崎智彦	デング熱など昆虫媒介ウイル ス感染症	第 111 回日本皮膚科学 会総会	2012 年 6 月 1-3 日	京都市
モイ メンリン、林 昌 宏、西條政幸、倉根一郎、 高崎智彦	デング熱診断サーベイランス のための NS1 抗原検出キットの 有用性	第 86 回日本感染症学 会総会学術講演会	2012 年 4 月 25-26 日	長崎市
駒瀬勝啓、高崎智彦、竹 田誠.	デング熱患者血清における麻 疹 IgM 抗体の検出.	第 86 回日本感染症学 会総会学術講演会	2012 年 4 月 25-26 日	長崎市
竹下望、水野泰孝、Lim Chang-Kweng、小滝徹、 氏家無限、大曲貴夫、加 藤康幸、金川修三、高崎 智彦.	日本脳炎ワクチンによる持続 効果とブースター効果に関する 研究.	第 86 回日本感染症学 会総会学術講演会	2012 年 4 月 25-26 日	長崎市

佐藤法仁、山崎利雄、 <u>小林和夫</u> 、大原直也。	ストレプトマイシン依存性結核菌 18b 株の依存性に関与する遺伝子変異の解明と新たなストレプトマイシン耐性を誘導する遺伝子発見の発見	第 87 回日本結核病学会総会	2012 年 6 月	広島
<u>甲斐雅規</u> 、中田登、松岡正典、関塚剛史、黒田誠、 <u>牧野正彦</u>	らい菌 Kyoto-2 株の全ゲノムシーケンスにより同定された SNPs の解析。	第 85 回日本ハンセン病学会総会	2012 年 6 月	札幌市
<u>M. Kai, Y. Maeda, M. Makino.</u>	Molecular Studies on <i>M. leprae</i> and Ser-diagnosis of Leprosy.	The 9 th Taiwan-Japan Symposium	Sep. 20-21, 2012.	台北
Gaku Nakato, Koji Hase, Michio Suzuki, Masanobu Kimura, Manabu Ato, Misaho Hanazato, Minoru Tobiume, Motohiro Horiuchi, Ryuichiro Atarashi, Noriyuki Nishida, Masahisa Watarai, Koichi Imaoka, Hiroshi Ohno.	Cellular prion protein on Peyer's patch M cells could serves as an invasive receptor for <i>Brucella abortus</i> .	The 11th Awaji International Forum on Infection and Immunity	Sep. 11-14, 2012	淡路
鈴木道雄, 中藤学, 度会雅久, 木村昌伸, 堀内基広, 長谷耕二, 飛梅実, 阿戸学, 森川茂, 山田章雄, 大野博司, 今岡浩一.	<i>Brucella abortus</i> は腸管パイエル板からの侵入に M 細胞上のプリオン蛋白質 (PrPc) を利用する	第 155 回日本獣医学会学術集会	2013 年 3 月	東京
渡邊峰雄, 山口哲矢, 大塚菜緒, <u>蒲地一成</u>	<i>Bordetella holmesii</i> に対する新規ワクチンの開発	第 86 回日本細菌学会総会,	平成 25 年 3 月	千葉市幕張メッセ
渡邊峰雄, 山口哲矢, 大塚菜緒, <u>蒲地一成</u>	国内で分離された <i>Bordetella holmesii</i> に対する DPT ワクチンの効果.	第 16 回日本ワクチン学会学術集会	平成 24 年 11 月	横浜

プロジェクト 3 : インド

Mitobe J, Yamamoto S, Watanabe H, and Ohnishi M	細菌における遺伝子発現制御の普遍性と特異性	第 85 回日本細菌学会総会ワークショップ	2012 年 3 月 27 日	長崎
Mitobe J, Itaru Yanagihara I, Ohnishi K, Yamamoto S, Watanabe H and Ohnishi M,	Multimer formation of bacterial cytoskeletal protein RodZ.	US-Japan Cooperative Medical Science Program. 47 th Conference. Cholera and Other Bacterial Enteric Infections.	2012 Dec.12-14	千葉
Takahara Y, Nakamura M, Matsuoka S, Sakawaki H, Miura T, Igarashi T, Koyanagi Y, Naruse T, Kimura A, <u>Matano T.</u>	Impact of therapeutic vaccination on CTL immunodominance and viral suppression in SIV-infected rhesus macaques under HAART.	The XIXth International AIDS Conference,	7/26/2012.	Washington , DC, USA
<u>Matano T.</u>	Stable viral control in the presence of silent proviruses in a macaque AIDS model.	The 13th Kumamoto AIDS Seminar,	10/24/2012	熊本
野村拓志、山本浩之、明里宏文、 <u>俣野哲朗</u>	SIV 複製抑制マカクサルにおける CTL 逃避変異体の選択による複製抑制破綻機構の解析	第 60 回日本ウイルス学会学術集会	11/14/2012	大阪
高橋尚史、山本浩之、成瀬妙子、木村彰方、 <u>俣野哲朗.</u>	サルエイズモデルにおける Nef 抗原特異的細胞傷害性 T リンパ球反応が関与するウイルス複製制御機序に関する研究	第 26 回日本エイズ学会学術集会	11/24/2012	東京

プロジェクト4：ベトナム

小泉信夫	レプトスピラ症の現状	第12回人と動物の共通感染症研究会学術集会	2012年11月	東京
町田早苗、清水博之	小児無菌性髄膜炎患者から検出されたエンテロウイルスの分子疫学的解析.	第60回 日本ウイルス学会学術集会.	11月14日, 2012	大阪
Shimizu H.	Hand, foot, and mouth disease and Enterovirus 71 infection.	NIID-China CDC meeting on Collaborative Research meeting,	21 November 2012	東京
Shimizu H	Genetic and Phenotypic Diversity of Enterovirus 71.	Current Progress in Enterovirus 71 Research in the Asia-Pacific Region	30 August, 2012	東京
Lee H, Cifuentes JO, Carnegie MS, Markoff A, Conway J, Shimizu H, Tano Y, Nishimura Y, Hafenstein S.	The cryoEM structure of EV71 bound by fragments of neutralizing antibody predicts a mechanism of neutralization by crosslinking and competition with PSGL-1.	EUROPIC 2012.	3-7 June, 2012	Saint Raphaël, France
Umami RN, Hosomi T, Nishimura Y, Shimizu H.	Genetic analysis of PSGL-1-tropic enterovirus 71 isolates from clinical samples.	EUROPIC 2012	3-7 June, 2012	Saint Raphaël, France
駒瀬 勝啓、高崎智彦、竹田誠	デング熱患者における麻疹 IgM 抗体の検出	第86回日本感染症学会学術講演会	2012年4月24日～25日	長崎
Khamla Lerdsaway, K. Thammavongsa, P. Ounnaphone, B. Khamphongphanh, V. Somoulay, P. Vongphrachanh, K. Komase, K. Yamamoto, S. Archkhawong, P. Ketmayoon, M. Phengxay, T. Chanthapaseuth, K. Feldon, J. Denny, H.	Lewis, Rubella Susceptibility Study among Women of Child-bearing Age - Vientiane Capital, Lao PDR, 2010	15 th International Congress on Infectious Diseases	2012年6月13日～16日	Bangkok Thailand

中山哲夫、改田厚、駒瀬勝啓	麻疹ウイルス野生流行株とワクチン株との鑑別	第53回日本臨床ウイルス学会	2012年 6月16日 ～17日	堺
駒瀬勝啓、秋吉京子、伊藤正寛	麻疹 IgM 抗体価測定による麻疹検査診断-偽陽性と感度の関係-	第53回日本臨床ウイルス学会	2012年 6月16日 ～17日	堺
	点状出血で発症したパルボウイルス感染症の臨床とウイルス学的検討～麻疹 IgM 抗体との交叉反応について～	第53回日本臨床ウイルス学会	2012年 6月16日 ～17日	堺
酒井宏治、關文緒、網康至、田原舞乃、中津祐一郎、大槻紀之、福原英雄、福士秀悦、吉川智城、西條政幸、森川茂、前仲勝美、山口良二、駒瀬勝啓、竹田誠	カニクイザルで致死的感染症を起こしたジステンパーウイルスのサルレセプターの効率的な利用:ジステンパーウイルスはヒトへの脅威となり得るのか?	第60回日本獣医学会	2012年 9月14日 ～16日	岩手
中津 祐一郎、鈴木 忠樹、駒瀬 勝啓、竹田 誠	極性上皮細胞におけるリサイクリングエンドソーム経路を利用した麻疹ウイルス RNP 複合体の細胞膜への輸送と感染性ウイルス粒子の産生	第60回ウイルス学会学術集会	2012年 11月13日 ～15日	大阪
田原 舞乃、Melinda A. Brindley、福原 秀雄、酒井 宏治、大野 真治、駒瀬 勝啓、Paul A. Rota、Richard K. Plemper、前仲 勝実、竹田 誠	麻疹ウイルス単一血清型決定の分子基盤	第60回ウイルス学会学術集会	2012年 11月13日 ～15日	大阪
酒井 宏治、關 文緒、網 康至、田原 舞乃、中津 祐一郎、大槻 紀之、福原 秀雄、福士秀悦、吉河 智城、西條政幸、森川 茂、前仲勝実、山口 良二、駒瀬勝啓、竹田 誠	カイクイザルで致死的感染症を起こしたジステンパーウイルスのサルレセプターの効率的な利用:ジステンパーウイルスはヒトへの脅威となり得るのか?	第60回ウイルス学会学術集会	2012年 11月13日 ～15日	大阪

内野 清子、三好 龍也、森 嘉生、駒瀬 勝啓、田中 智之	いわゆる臨床検体三点セットを用いた風疹ウイルス検出状況	第60回ウイルス学会学術集会	2012年 11月13日 ～15日	大阪
田原舞乃、駒瀬勝啓、竹田誠	麻疹ウイルスH蛋白質全エピトープの詳細な解析	第16回日本ワクチン学会学術集会	2012年 11月17日 ～18日	横浜
Kouji Sakai, Fumio Seki, Maino Tahara, Noriyuki Otsuki, Yasushi Ami, Masayuki Saijo, Ryoji Yamaguchi, Katsuhiko Komase, Makoto Takeda and Shigeru Morikawa、	Canine distemper virus intrinsically uses monkey receptors and readily adapts to use human receptors as well,	15 th International Conference on Emerging Infectious Diseases (EID)	2013年 3月11日 ～13日	Singapore
駒瀬勝啓	麻疹の疫学、実験室検査診断	衛生微生物技術協議会第33回研究会	2012年 6月28日 ～29日	横浜
駒瀬勝啓	麻疹、風疹ウイルスと検査診断について	第26回公衆衛生情報研究協議会	2013年 1月24日 ～25日	沖縄
駒瀬勝啓	麻疹、風疹発生状況、ウイルス検査の概要と精度管理	平成24年度地方衛生研究所東海、北陸ブロック微生物部門専門家会議	2012年 10月18日 ～19日	名古屋
Manalo D.L., Tuason L., Jarilla B., Avenido E., Demetria C., Quiambao B.P., Acosta L.P., <u>Noguchi A.</u> , <u>Bazartseren B.</u> , Sugaira N., <u>Kaku Y.</u> and <u>Inoue S.</u>	Optimization Procedures of the Production of Rabies Polyclonal Antibodies as Reagent for Direct Rapid Immunohistochemical Test (DRIT).	Conference for Laboratory Animal Sciences and Technologies 2012.	24-26 May, 2012.	別府
<u>Inoue S.</u> , Shigematsu, M., Sato M., Muranaka S., Masukawa H., Sugiyama K., Kobayashi M., Imabayashi A., Watanabe T., Suzuki A., Minami, H.	Surveillance: Encompassing public health to your animal companion!	15th International Congress on Infectious Diseases. Organized by the International Society for Infectious Diseases.	13-16 June, 2012	Bangkok, Thailand.

<u>Inoue S.</u> , Uda A., Sugiura N., and Park C.-H.	Microarray analysis of central nervous system in CVS-11 infected mice showing signs of paralysis.	46 th Joint Working Conference on Viral Diseases. The Japna-US Cooperative Medical Science Program.	19-20 June, 2012	別府
<u>Inoue S.</u> , Uda A., Sugiura N., and Park C.-H.	Microarray analysis of CNS in mice showing signs of paralysis after the intramuscular inoculation of RV (CVS-11 strain).	The 16th Annual Meeting of Japanese Society for Neurovirology. Symposium "Current Progress in Enterovirus 71 Research in The Asia-Pacific Region".	30-31 Aug, 2012	東京
<u>Thi Thu Ha Hoang</u> , <u>Satoshi Inoue</u> , <u>Akiko Okutani</u> , Dang Duc Anh, Thanh Hai Pham, Thuy Tram Nguyen, and Tran Hien Nguyen.	Anthrax cases report in Vietnam - An update.	SAOHUN (The southeast Asian One Health university network) executive board meeting supported by RESPOND-USAID	1-2 Dec, 2012.	Bali, Indonesia.
<u>Inoue, S.</u>	Zoonosis: Rabies.	Confereance and workshop on "From zoonosis to the Chiang Mai model towards rabies free zone",	26-27 April 2012	Chiang Mai University, Thailand.
<u>Inoue, S.</u>	"The prevention of rabies in Japan". A Contingency Plan of Rabies in Japan.	2012 Rabies Conference in China	17-18 May 2012	Beijin, China.
<u>Inoue, S</u>	Clinical signs and symptoms of rabies in animals (Theory and video on dog rabies, the notes of clinical diagnosis). Enhancement of quality of rabies control and prevention.	National program for rabies control and prevention - NIHE and JICA project on enhancement of communicable disease control and prevention for PMS with NIID and WHO experts.	4-6 July 2012,	Thai Nguyen Province, Vietnam
<u>奥谷晶子</u>	アジアにおける炭疽の発生状況と遺伝学的解析について。シンポジウム：忍び寄る人獣共通病原体。	第86回日本細菌学会総会	2013年3月	千葉

杉下摩由璃、山田健太郎、小宮尚之、久保達也、小嶋大亮、Boonsriroj Hassadin、井上 智、西園晃、朴 天鎬	病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株 1088-N0 と弱毒株 1088-N30）を筋肉内接種した ddY マウスの末梢神経系（脳を除く頭部）に関する比較病理学的研究。	第 154 回日本獣医学会学術集会	2012 年、9 月	岩手
朴 天鎬、山田健太郎、小宮尚之、久保達也、小嶋大亮、井上 智、西園晃	病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株 1088-N0 と弱毒株 1088-N30）を筋肉内接種した ddY マウスの中樞神経系に関する比較病理学的研究。	第 154 回日本獣医学会学術集会	2012 年、9 月	岩手
加来義造、野口 章、濱本紀子、Bazartseren Boldbaatar、佐藤 豪、森川茂、井上 智	分泌型アルカリフォスファターゼ発現 VSV シュードタイプを利用した狂犬病ウイルス中和試験法の開発。	第 154 回日本獣医学会学術集会	2012 年、9 月	岩手
飛梅 実、井上 智、野口 章、濱本紀子、長谷川秀樹	狂犬病ウイルス抗原の口腔内局在の病理学的探索	第 60 回ウイルス学会学術集会	2012 年 11 月 13 日 -15 日	大阪
大野秀明、田辺公一、杉田 隆、畠山修司、大久保陽一郎、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、金城雄樹、渋谷和俊、亀井克彦、宮崎義継。	北米流行型 <i>Cryptococcus gattii</i> 株の病原性、病原因子の解析-国内臨床分離株を中心に-	第 86 回日本感染症学会総会	2012 年 4 月 25、26 日	長崎
渋谷和俊、大久保陽一郎、大野秀明、宮崎義継、田辺公一、金子幸弘、山越智、梅山 隆、安藤常浩、若山 恵。	<i>Cryptococcus gattii</i> 感染症における病理組織学的解析。	第 86 回日本感染症学会総会	2012 年 4 月 25、26 日	長崎
梅山 隆、山越 智、田辺公一、大野秀明、宮崎義継。	<i>Aspergillus fumigatus</i> プロテインキナーゼの特異的阻害による病原性制御。	第 60 回日本化学療法学会総会	2012 年 4 月 26、27 日	長崎
木村雅友、大野秀明、梅山 隆、宮崎義継	アスペルギルスとクリプトコックスによる肺混合感染の 2 手術例。	第 56 回日本医真菌学会学術集会	2012 年 11 月 10、 11 日	東京

大久保陽一郎、大野秀明、篠崎 稔、宮崎義継、根本哲生、若山 恵、栃木直文、笹井大督、石渡誉郎、中山晴雄、下平佳代子、田辺公一、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、職玉珠、北原加奈子、山本慶郎、渋谷和俊.	マウス肺クリプトコッカス症モデルを用いた感染防御ならびに構築変換の解析.	第56回日本医真菌学会 学術集会	2012年 11月10, 11日	東京
Mitsutoshi Senoh, Haru Kato, Keigo Shibayama.	Rapid detection method of live <i>Clostridium difficile</i> .	4th International <i>Clostridium difficile</i> Symposium.	2012 Sept	Slovenia
妹尾充敏、加藤はる	栄養型毒素産生性 <i>Clostridium difficile</i> の新規検査法の開発	第28回日本環境感染学会総会	2013年 3月	横浜

学会発表に関する一覧表 (平成23年度)

執筆者氏名	学会発表名	学会名	開催年	開催地
プロジェクト1：中国				
原田義高、吉嶺裕之、諸角美由紀、生方公子、前川純子、倉 文明、渡辺喜和雄、森本浩之輔、有吉紅也	MultiplexPCR が有用であった <i>Legionella pneumophila</i> serogroup 10 によるレジオネラ肺炎.	第 85 回日本感染症学会総会	2011 年 4 月	東京
Junko Amemura-Maekawa, Akiko Kaneko, Toshiro Kuroki, Junko Isobe, Masafumi Nukina, Hiroshi Nakajima, Kimiko Kawano, Yuki Tada, and Fumiaki Kura:	<i>Legionella</i> isolates from patients in Japan.	Annual Meeting of the European Working Group for <i>Legionella</i> Infections,	May 2011	Vienna, Austria
Junko Amemura-Maekawa, Kiyomi Kikukawa J. H. Helbig, Katsunori Furuhashi, Masayuki Ichinose, Atsuko Suzuki-Hashimoto, Bin Chang, Miyo Murai, and Fumiaki Kura	Analysis of <i>Legionella pneumophila</i> serogroup 1 isolates from bath water, cooling tower water, and soil in Japan.	International Union of Microbiological Societies 2011 Congress	September 2011	Sapporo, Japan,

Fumiaki Kura, Junko Amemura-Maekawa, Akiko Kaneko, Toshiro Kuroki, Junko Isobe, Masafumi Nukina, Hiroshi Nakajima, Kimiko Kawano, Yuki Tada, and J. H. Helbig:	Analysis of <i>Legionella pneumophila</i> serogroup 1 from patients in Japan.	International Union of Microbiological Societies 2011 Congress,	September 2011	Sapporo, Japan,
志牟田健、飛田収 一、伊東三喜雄、 藤原光文、石川和 弘、上田朋宏、亀 岡博、古林敬一、 安本亮二、川畑拓 也、中山周一、大 西真	京都府と大阪府における 2010 年- 2011 年に分離された淋菌株の MLST 及び NG-MAST 型別を用いた系統解 析と淋菌の薬剤耐性の傾向について	日本感染症学会第 24 回学 術大会	2011 年 12 月	東京
蒲地一成	百日咳の実験室診断，困難な青年・ 成人患者の診断	第 60 回日本感染症学会東 日本地方学術集会・第 58 回日本化学療法学会東日 本支部総会合同地方会	平成 23 年 10 月	山形
大塚菜緒，吉野修 司，豊泉（鯉坂） 裕美，大平文人， 蒲地一成	百日咳類縁菌 <i>Bordetella holmesii</i> に特 異的な LAMP 検出系の開発	第 60 回日本感染症学会東 日本地方学術集会・第 58 回日本化学療法学会東日 本支部総会合同地方会	平成 23 年 10 月	山形
大塚菜緒，吉野修 司，河野喜美子， 豊泉（鯉坂）裕美， 柴山恵吾，蒲地一 成	LAMP 法を用いた百日咳類縁菌 <i>Bordetella holmesii</i> 検出系の開発	第 94 回日本細菌学会関東 支部総会，	平成 23 年 10 月	東京

プロジェクト 2 : 台湾

<u>Kumiko Tsukui</u>	Unique genomic features of an avirulent <i>Entamoeba histolytica</i> strain found in Japan	The eighth Japan-Taiwan symposium on Antibiotics resistance and foodborne diseases,	2011 年 10 月	
<u>小林和夫</u> , 光山 正雄	結核研究の最先端 (シンポジウム 10-S-4). 学術講演要旨 246、	第 28 回日本医学会総会	2011.4 誌上開催	東京
松本壮吉, 岡 真 優子, 北田清悟, 前倉亮治, <u>小林和夫</u>	結核研究の最先端 (シンポジウム 10-S-4). 学術講演要旨 246	第 28 回日本医学会総会	2011.4 誌上開催	東京
<u>小林和夫</u>	感染症における宿主免疫応答と橋渡し研究 (Workshop 7 感染症、免疫不全・免疫異常症). 日臨免誌、34 : 268	第 39 回日本臨床免疫学会総会	2011.9	東京
<u>甲斐雅規</u> , 松岡正典, 宮本友司, 中田登, <u>牧野正彦</u>	増殖能の異なるらい菌株間のゲノム比較解析。	第 83 回日本ハンセン病学会総会	2011 年 5 月	岡山市
Amako, K., K. Iida, <u>M. Kai</u> , M. Matsuoka, and S. Yoshida.	<i>In vitro</i> cultivation of <i>Mycobacterium leprae</i> in microaerophilic or anaerobic conditions.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	6-10 September, 2011	Sapporo, Japan.
<u>Kai, M.</u> , H. Yamada, N. Fujiwara, S. Maeda, Y. Miyamoto, T. Mukai, N. Nakata, and <u>M. Makino</u> .	Establishment and characterization of knockout mutants of <i>Mycobacterium bovis</i> BCG gene involved in mycolic acid synthesis pathway.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	6-10 September, 2011	Sapporo, Japan.
Nakata, N., M. Matsuoka, <u>M. Makino</u> , and <u>M. Kai</u> .	Whole genome comparison of <i>Mycobacterium leprae</i> strains differing in growth rate.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology	6-10 September, 2011,	Sapporo, Japan

Miyamoto, Y., M. Matsuoka, Y. Fukutomi, T. Mukai, <u>M. Kai</u> , <u>Y. Maeda</u> , and <u>M. Makino</u> .	Characterization of intracellular metabolites from <i>Mycobacterium leprae</i> .	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	6-10 September, 2011	Sapporo, Japan.
<u>Maeda, Y.</u> , T. Tamura, <u>M. Kai</u> , Y. Fukutomi, and <u>M. Makino</u> .	Induction of intracellular killing of <i>Mycobacterium leprae</i> in human dendritic cells by a lipopeptide-mediated activation of T cells.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	6-10 September, 2011	Sapporo, Japan.
Tsukamoto, Y., E. Endoh, T. Mukai, <u>Y. Maeda</u> , T. Tamura, <u>M. Kai</u> , and <u>M. Makino</u> .	Activation of human naïve T cells of both CD4 and CD8 subsets by <i>Mycobacterium tuberculosis</i> major membrane protein II.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	6-10 September, 2011	Sapporo, Japan.
Nakata, N., <u>M. Kai</u> , and <u>M. Makino</u>	Mutation analysis of the <i>Mycobacterium leprae rpoB</i> gene and rifampicin resistance.	51 st Interscience Conference on Antimicrobial Agents and Chemotherapy.	17-20 September, 2011	Chicago, USA.
泉田さゆり, 峯田有美子, 浅井蓉子, 長原正静, 今岡浩一.	<i>Brucella melitensis</i> による腸腰筋膿瘍の1症例.	第22回日本臨床微生物学会総会	2011年1月	岡山
Koichi Imaoka.	Brucellosis in Japan.	8th Japan-Taiwan Symposium on Antibiotics resistance and Foodborne Disease	Oct. 12-14, 2011	東京
Koichi Imaoka.	Bacterial infection from dogs and cats – Brucellosis and <i>Capnocytophaga canimorsus</i> infection-. Workshop I: Zoonoses transmitted from pet animals in daily life.	The 2nd International Conference on Animal Care in KOBE 2012,	Feb. 18-19, 2012	神戸
<u>蒲地一成</u>	百日咳の実験室診断, 困難な青年・成人患者の診断.	第60回日本感染症学会東日本地方学術集会・第58回日本化学療法学会東日本支部総会合同地方会,	平成23年10月	山形

大塚菜緒, 吉野修司, 豊泉 (鯨坂) 裕美, 大平文人, 蒲地一成.	百日咳類縁菌 <i>Bordetella holmesii</i> に特異的な LAMP 検出系の開発.	第 60 回日本感染症学会東日本地方学術集会・第 58 回日本化学療法学会東日本支部総会合同地方会,	平成 23 年 10 月	山形
-------------------------------------	--	--	--------------	----

プロジェクト 3 : インド

M. Morita, S. Yamamoto, E. Arakawa, M. Alam, M. Ohnishi, H. Izumiya, H. Watanabe.	Transfer of genes for type III secretion system in <i>Vibrio cholerae</i> via natural transformation.	46 th U.S.-Japan Cholera & Other Bacterial Enteric Infections Joint Panel Meeting,	Dec. 2011.	Kolkata, India,
Jiro Mitobe, Itaru Yanagihara, Kiyohisa Ohnishi, Shouji Yamamoto, Makoto Ohnishi, Akira Ishihama and Haruo Watanabe	Bacterial cytoskeleton protein RodZ is involved in post-transcriptional processing of <i>Shigella</i> type III secretion system.	XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology.	Sept. 6-11 2011	Sapporo Convention Center. Sapporo, Japan.
Jiro Mitobe, Hemanta Koley [†] , Ritam Sinha [†] , Ken Shimuta, Nobuo Koizumi, Jun Terajima, Makoto Ohnishi, G Balakrish Nail [†] and Haruo Watanabe	An attempt to develop experimental <i>Shigella</i> vaccine based on virulence gene expression.	US-Japan Cooperative Medical Science Program. 46th Annual Joint Panel Meeting for Cholera and Other Bacterial Enteric Infections.	2011, Dec. 13-15	Kolkata. India
Nomura T, Iwamoto N, Inagaki N, Matsuoka S, Yamamoto H, Matano T.	Dynamics of viral CTL escape mutations toward higher viral replicative ability in vivo.	The 6th IAS Conference on HIV Pathogenesis, Treatment and Prevention,	7/18/2011	Rome, Italy,

Nomura T, Yamamoto H, Shi S, Iwamoto N, <u>Matano T.</u>	Analysis of viral genome sequences in SIV controllers.	The XVth International Congress of Virology,	9/13/2011.	Sapporo, Japan
<u>Matano T.</u>	Impact of prophylactic vaccination on post-exposure CTL cooperation against SIV replication in rhesus macaques.	12th Kumamoto AIDS Seminar,	10/20/2011	Kumamoto, Japan,
中村碧、高原悠 佑、阪脇廣美、堀 池麻里子、三浦智 行、五十嵐樹彦、 成瀬妙子、木村彰 方、 <u>俣野哲朗</u> 、松 岡佐織	サルエイズモデル感染初期におけ る MHC クラス I ハプロタイプ別 の CTL 反応優位パターンの解析.	第 25 回日本エイズ学会 学術集会	11/30/2011	東京

プロジェクト 4 : ベトナム

Tran Nguyen、駒瀬 勝啓、早川智、牛 島廣治	Phylogenic analysis of rubella viruses found in Vietnam in 2009-2010	第 52 回日本臨床ウイル ス学会	2011 年 6 月 11 日～12 日	津市
倉田貴子、井澤恭 子、西村公志、加 瀬哲男、高橋和 郎、大平文人、松 井陽子、梯和代、 久保英幸、改田 厚、後藤薫、長谷 篤、内野清子、三 好龍也、田中智 之、駒瀬勝啓、森 嘉生、竹田誠、	大阪府内における 2011 年の風しん 発生状況	第 15 回日本ワクチン学 会学術集会	2011 年 12 月 10 日～11 日	東京
小川知子、堀田千 恵美、小倉惇、福 嶋得忍、平野憲 朗、小山早苗、駒 瀬勝啓、中山哲 夫、和山行正、	MR ワクチン接種後、約 4 ヶ月を経 て麻疹ワクチン株が検出された症 例について	第 15 回日本ワクチン学 会学術集会	2011 年 12 月 10 日～11 日	東京

Hiroko Minagawa, Teruo Yamashita, Yoshihiro Yasui, Mami Hata, Shinichi Kobayashi, Hirokazu Adachi, Emi Mizutani, Miyabi Ito, Noriko Fujiwara, Akira Fujiura, Katsuhiko Komase.	COLLECTION/PRESERVATION CONDITIONS OF SAMPLES FOR MEASLES VIRUS DETECTION TO IMPROVE LABORATORY DIAGNOSIS FOR CASE-BASED MEASLES SURVEILLANCE.	XV International Congress of Virology,	2011年9月11 日～16日	札幌
<u>Inoue, S.</u>	The clinical signs and diagnosis of animal rabies.	Training Program for Rabies Laboratory Diagnosis. ESRM in NIHE	26-30 September 2011,	Hanoi, Vietna
<u>Inoue, S</u>	Brain operation of rabies suspected dog for taking samples, packaging and transporting to the laboratory.	ESRM in NIHE,	26-30 September 2011,	Hanoi, Vietnam
<u>奥谷晶子, 井上 智</u>	アジアにおける炭疽の発生状況と 遺伝学的タイピングについて	第11回人と動物の共通 感染症研究会学術集会、	2011年、 11月5日	東京
田辺公一, 大野秀 明, 梅山隆, 山 越智, 知花博治, 宮崎義継.	<i>Candida glabrata</i> 臨床分離株におけ るキャンディン感受性と FKS 遺伝子 の解析.	真菌分子細胞研究会	2011 (11月)	香川
名木 稔, 田辺公 一, 中山浩伸, 知 花博治, 梶原 将, 大野秀明, 宮崎義 継.	病原真菌 <i>Candida glabrata</i> の細胞外 ステロール獲得機構の解明.	真菌分子細胞研究会	2011 (11月)	香川
<u>大野秀明</u>	高病原性クリプトコックス症の現状 とその病態. ワークショップ3、深 在性真菌症の新たな展開－重症例、 難治症例の病態と治療	第60回日本感染症学会東 日本地方会学術集会、第 58回日本化学療法学会東 日本支部総会合同学会	2011 (10月)	山形

大野秀明、大川原明子、田辺公一、金子幸弘、梅山隆、山越 智、泉川公一、藤井 毅、竹村 弘、岸 一馬、河野 茂、宮崎義継.	日本国内で分離された <i>Cryptococcus</i> 属臨床分離株の血清型解析と抗真菌薬に対する感受性動向.	第 60 回日本感染症学会東日本地方会学術集会、第 58 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会、	2011 (10 月)	山形
田辺公一、大野秀明、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、金城雄樹、杉田隆、畠山修司、亀井克彦、渋谷和俊、宮崎義継.	<i>Cryptococcus gattii</i> 国内分離株の病原因子解析.	第 60 回日本感染症学会東日本地方会学術集会、第 58 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会	2011 (10 月)	山形
梅山 隆、山越 智、田辺公一、大野秀明、宮崎義継.	<i>Aspergillus fumigatus</i> Msp1 キナーゼの生化学的・遺伝学的アプローチによる解析.	第 60 回日本感染症学会東日本地方会学術集会、第 58 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会	2011 (10 月)	山形
金子幸弘、大野秀明、宮崎義継	フルコナゾール感受性調整物質の探索.	第 60 回日本感染症学会東日本地方会学術集会、第 58 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会、	2011 (10 月)	山形
大野秀明、宮崎義継.	真菌症診断の現状と課題.	第 128 回 ICD 講習会	2011 (10 月)	東京
梅山 隆、大野秀明、田辺公一、山越 智、宮崎義継.	標準化 MLST 解析法を用いたわが国のクリプトコックス属臨床分離株の分子疫学解析.	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
大野秀明、田辺公一、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、杉田 隆、畠山修司、亀井克彦、渋谷和俊、宮崎義継.	本邦初の北米流行型 <i>Cryptococcus gattii</i> 臨床分離株の実験的病原性解析.	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
金子幸弘、大野秀明、宮崎義継.	<i>Candida albicans</i> に対する既存薬と抗真菌薬との併用効果についての検討.	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京

山越 智、梅山隆、田辺公一、金子幸弘、橋本ゆき、大野秀明、宮崎義継。	<i>Aspergillus fumigatus</i> の分泌蛋白 B11 およびそのホモログの検出系と病原性について。	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
田辺公一、大野秀明、梅山 隆、山越 智、宮崎義継。	日本とタイにおける遺伝子検出法を用いた環境生息ヒストプラスマ属の検出。	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
大川原明子、金城雄樹、上野圭吾、山越 智、梅山隆、樽本憲人、大野秀明、新見昌一、宮崎義継。	β 結合型マンノースを欠失したカンジダマンナンは樹状細胞の炎症性サイトカイン産生を増強する。	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
三原 智、泉川公一、井手昇太郎、平野勝治、峰松明日香、細萱直希、永吉洋介、田代将人、中村茂樹、今村圭文、宮崎泰可、掛屋 弘、山本善裕、柳原克紀、梅山 隆、大野秀明、宮崎義継、田代隆良、河野 茂。	長崎大学における <i>Cryptococcus</i> の Multilocus Sequence Typing (MLST) を用いた分子疫学解析	第 55 回日本医真菌学会学術集会	2011 (10 月)	東京
大野秀明、田辺公一、梅山 隆、金子幸弘、山越 智、宮崎義継。	クリプトコックス・ガッティ (<i>Cryptococcus gattii</i>) 。	衛生微生物技術協議会 第 32 回研究会	2011 (6 月)	東京
大野秀明、田辺公一、杉田 隆、畠山修司、金子幸弘、梅山 隆、山越智、亀井克彦、宮崎義継。	国内で初めて分離された VGIIa 型 <i>Cryptococcus gattii</i> 株の薬剤感受性と病原性についての検討。	第 59 回日本化学療法学会総会	2011 (6 月)	札幌

金子幸弘、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継	<i>Candida albicans</i> の biofilm における抗真菌薬に対する代償性の遺伝子発現.	第 59 回日本化学療法学会総会	2011 (6 月)	札幌
梅山 隆、山越智、田辺公一、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継.	<i>Aspergillus fumigatus</i> の Mps1 キナーゼの新たな抗真菌薬ターゲットとしての可能性の検討.	第 59 回日本化学療法学会総会	2011 (6 月)	札幌
山越 智、梅山隆、田辺公一、金子幸弘、橋本ゆき、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継.	<i>Aspergillus</i> 属分泌蛋白質を標的にしたサンドイッチ ELISA 法によるアスペルギルス症診断系構築の試み.	第 32 回関東医真菌懇話会	2011 (5 月)	東京
金子幸弘、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継.	<i>Candida</i> バイオフィルムにおける抗真菌薬耐性関連遺伝子の発現調節.	第 32 回関東医真菌懇話会	2011 (5 月)	東京
徳山承明、眞木二葉、竹村 弘、高木妙子、田辺公一、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継、亀井克彦、長谷川泰弘.	日本人 AIDS 患者に発症したマルネツフェイ型ペニシリウム症の一例.	第 32 回関東医真菌懇話会	2011 (5 月)	東京
田辺公一、 <u>大野秀明</u> 、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、杉田 隆、畠山修司、亀井克彦、宮崎義継.	国立感染症研究所における地域流行型真菌症への対応と現状.	第 32 回関東医真菌懇話会	2011 (5 月)	東京
梅山 隆、 <u>大野秀明</u> 、田辺公一、山越 智、渡邊 浩、宮崎義継.	福岡県筑後地区周辺におけるクリプトコックス症多発発生例からの分離株の MLST 法による疫学的検討.	第 85 回日本感染症学会総会	2011 (4 月)	東京
筋野恵介、樽本憲人、山口敏行、前崎繁文、梅山 隆、 <u>大野秀明</u> 、宮崎義継	<i>Rothia</i> 属菌により出血性脳梗塞を合併した感染性心内膜炎の 1 例.	第 85 回日本感染症学会総会	2011 (4 月)	東京
<u>大野秀明</u> 、田辺公一、金子幸弘、梅山 隆、山越 智、宮崎義継.	遺伝子診断法を用いた土壤中に生息するヒストプラスマ属検出の試み.	第 85 回日本感染症学会総会	2011 (4 月)	東京

金子幸弘、 <u>大野秀</u> 明、宮崎義継.	カンジダバイオフィルムにおけるス トレス応答とその阻害効果.	第 85 回日本感染症学会総 会	2011 (4 月)	東京
-----------------------------	-----------------------------------	---------------------	------------	----